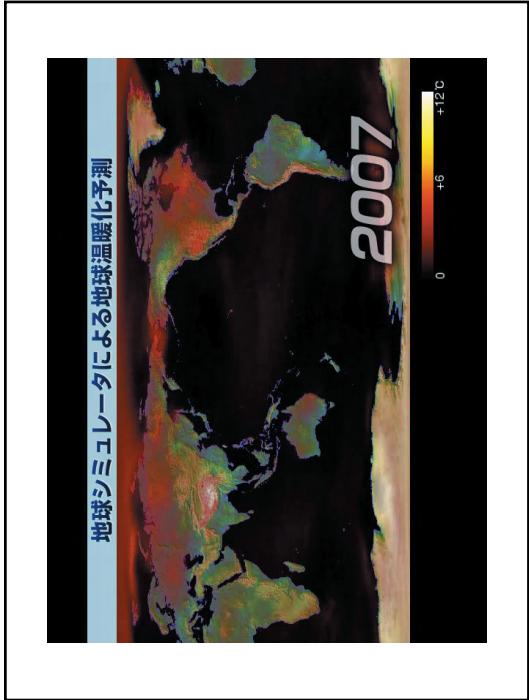
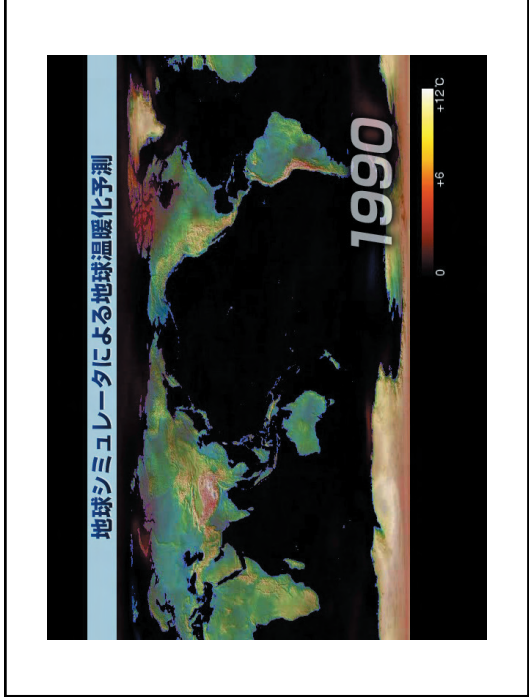
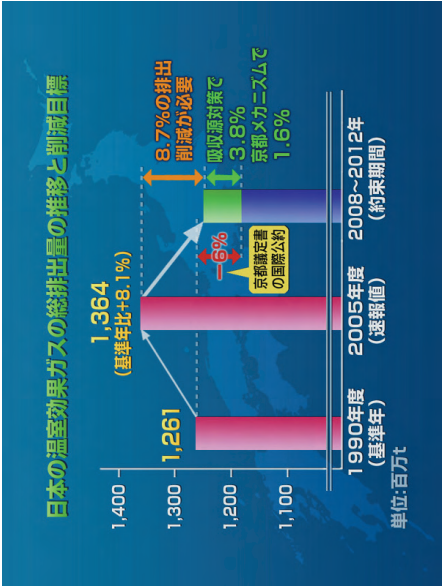
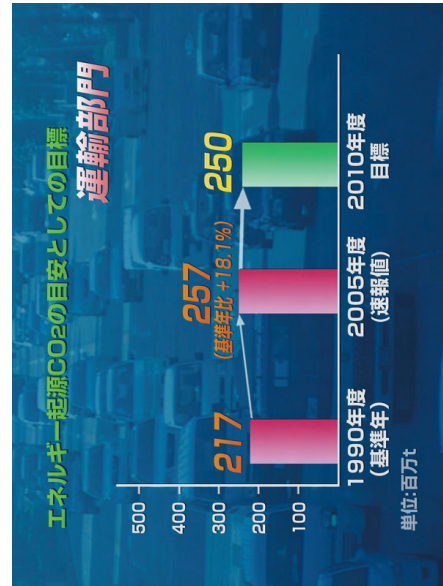
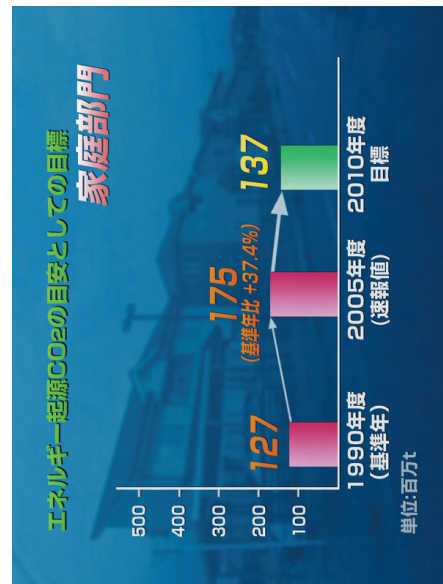
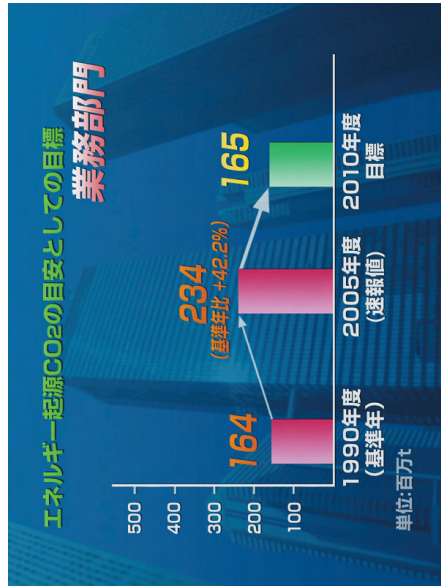
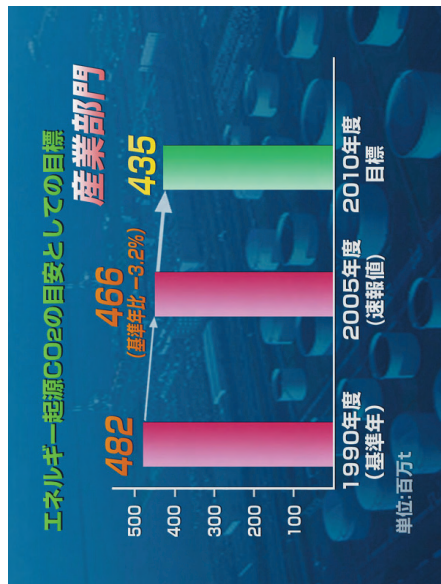








開業後の市民アンケート結果

行政が関与し公共交通を活性化する取り組みに対し、

○市民の約9割が評価すると回答

○全ての地域において評価するが8割を越えていない



Number of Iterations	Average Number of Iterations (A)	Standard Deviation of the Number of Iterations (B)
10	1.200	0.333
20	1.167	0.333
30	1.133	0.333
40	1.100	0.333



業前 401051/0

業後 4001 / □ 4001 / □ 4001 / □

1
2
3

10480	月別(平日・休日)の1日
-------	--------------



Year	Male (thousands)	Female (thousands)
2000	1,400	1,400
2001	1,400	1,400



○ポータラムの整備効果

(1)高齢者の外出機会の増加	60代以上の利用平日3.5倍、休日7.4倍
(2)自動車からポータラムへの転換	平日572人(11.5%)、休日700人(12.6%)
(3)転換によるCO2の削減	H18目標: 73t-CO ₂ /年 (474人が転換) H18実績: 89t-CO ₂ /年 (572人が転換) ※20%UP
(4)沿線の賑わい創出	①沿線商店街の賑わい ライトレールの開業に合わせて朝市が復活
②終点駅周辺地区(岩瀬地区)の歩行者の増加	国指定重要文化財「蔵家」(旧回船問屋)の入居者数の大幅な増加 平成17年 14,774人 → 平成18年 44,774人 ※300%UP ※H17年5月～12月とH18年5月～12月までの比較

○路面電車の将来構想

約15.8kmの路面電車ネットワークの形成による多様な運行系統の実現

南北路面電車の接続
都心アクセス向上
・ポータラム7.6km
・市内電車6.4km

+

市内電車の環状線化
都心回遊性向上
・延伸0.9km



中心市街地活性化
都心居住の推進
コンパクトなまちづくりの実現

